

# 「わたしを愛する者を、わたしは愛する。 わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つける。」

(箴言 8:17)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。白馬セミナーも近づき、事務局も準備の真っ最中です。すでに400名あまりの方が参加連絡くださっています。ぜひ、続けてお祈りください。

チア・にっぽんの展開と並行して、皆さんに祈っていただいていた映画「新ジーザス」の制作がさらに、積極的なステージに進みつつあります。同じ伝道・世界宣教の働きの目的で結ばれる働きです。さらに力を込めて祈っていただきたく、最新レポートをお伝えします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

最近、チャーチ&ホームスクーリングに加わってくださった方も多いため、チアと二人三脚のようにして進んできた映画「新ジーザス」の歩みの歴史を、短くお伝えします。

家族・教育の聖書への回復を目指すチアの最終目的は、伝道・世界宣教です。2000年にスタートしてまもなく、この目的をメディアから働きかける映画プロジェクト、「新ジーザス」にプロデューサーとして加わる話が与えられました。2年ほどさかのぼる1998年、NHKや神学校、ハーベストタイム時代を含めてテレビの世界が長かった私に、「ハリウッドから福音を伝えられるよ！ できるよ！」といったテッド・ベア博士やハリウッドのクリスチャンプロデューサーたちからの励ましを受け、その後「さあ、湖の向こう岸へ渡ろう」(ルカ 8:22)との主の導きを確認していきました。次のステージに出発した2000年、チャーチ&ホームスクーリングの必要の中で進んでいくさなかに、主が開いてくださった二つめの扉が、映画「新ジーザス」でした。2001年、我が家はハリウッドに居を構えることになりました。チアと二本柱となったこの仕事は、我が家の家計も支え、結果的に、いろいろな角度からチアの働きをも助けつつ進んでいくことに導かれます。

主の山には備えがありました。世界宣教のビジョンのもとに制作を志されていた方々との不思議な出会い、私をチームの一員に任じてくれた方々、一緒に展開していくエグゼクティブ・プロデューサーの同志たち、台本作家や優れたコンサルタントたち、ハリウッドの中心からキリストの福音展開をねらう仲間たち…。みな油注がれ、主が備えてくれた選ばれた器と思います。そして同じ志から、多くの犠牲を払い、経済面でのサポートを決断してくださる、ことばにできないほど感謝な方々も、主が導かれ、チームへと加えてくださいました。

アメリカでの公開予定は2010年11月23日。その後、各国で上映、そして、アジアや南米、アフリカ、各地の伝道の武器として用いられていく準備が進み、今、ひとつの節目と言える大切な段階にきています。ぜひ、一層のお祈りを、新しい皆さんも含めて、祈りのチームに入っていたいただきたく思い、レポートいたします。



ニュージーランド・ウェリントン

南半球、ニュージーランド、ウェリントン。9月末から、今月上旬にかけての10日間、プロデューサーたち4人で、滞在を続けていました。季節はまだ早春で、初日はみぞれ、その後は、虹と澄み切った青空の太陽とエメラルドグリーン的大海からの涼風へと、文字通り、希望の広がる10日間でした。

## 伝道の機会を祈り求める！

ロード・オブ・ザ・リングからナルニア、そしてー

ニュージーランドでは、現在「ナルニア国物語2 (プリンス オブ カスピアン)」の制作が行われていて、そのスペシャルエフェクト監督のディーン・ライト氏(以下、敬称略)に、主要スタッフとして、参加してもらえるかどうかと台本会議が今回の目的でした。ディーン・ライトは、「ナルニア国物語第一章・ライオンと魔女」や「ロード・オブ・ザ・リング」のCG監督で、昨年アカデミー賞にノミネートされていました。

ディーンは、我が家が集う教会に集い、彼の家族は日曜学校の先生をしている妻の和紀子や真祈史、エミリたちと友達でした。「ディーンに会って見たら?」。当時、監督候補等を探していた私に和紀子は話してくれました。



ちょうどディーンは、日曜礼拝の子ども向けメッセージでこんな話をしました。「みんなイエスさまのこと伝えたいでしょう？ 僕はイエスさまを伝えたいので機会をくださいと祈っていたら、聖書を土台に創作された『ロード・オブ・ザ・リング2-二つの塔』の仕事が与えられたよ。もっと伝えさせてくださいと祈っていたら、『ロード・オブ・ザ・リング3-王の帰還』の仕事が与えられた。もっと効果的に伝えさせてくださいと祈っていたら『ナルニア国物語-第一章・ライオンと魔女』の仕事が与えられたよ。だから、伝道のチャンスを神さまに祈り求めよう！」

私はとても感動しました。ちょうどその少し前、原宿での新年路傍伝道でポール・ブローマンさんが話してくれたことと重なっていました。「伝道のチャンスをもっとくださいって、ずっと祈ってきたの。主はたくさん、与えてくれたよ。これは伝道の秘訣の一つだと思う。」

### 伝道の武器としての「ジーザス」を、 ハリウッドから

数か月して、ディーンと正式なミーティングを持ちました。「Kingdom Come (映画「新ジーザス」の仮題)」の台本を事前に読んでもらってからの話し合いです。

この作品は、世界各地の伝道の武器となり、また、ロードショーとして欧米の映画館でもインパクトを与える作品となることを説明しました。聖書的、そして、聖書を基盤としない文化圏でもわかる展開。この作品は、欧米の視点ではない、ミッションの視点から制作される初めての作品となるべきものです。これまでのほとんどの作品のように、クリスマスから始まりません。それだと、アジアやアフリカでは、「欧米の神さま」と思われてしまう傾向があるからです。

作品は、天地創造・創世記の人間の創造から始まります。しかし、創造されたアダムもエバも、神に反抗し、罪とその結果に苦悩する人間の歴史が始まります。「それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた」(創世記6:6)。そうした人間を裁かなければならない神の痛み、備えられた唯一の救いの道、イエス・キリストの降誕と十字架の死と復活。しかし、それでも続く人間の反抗の歴史、そして、すべての人々が立たなければならない、主の裁きの座、天国と地獄の選択。創世記から黙示録に及ぶ、「聖書」そのものの2時間30分です。

「自分がハリウッドに来たのは、いつか、ジーザスの映画を最先端の方法で紹介したい！ということだった。その祈りが答えられたと思ったよ！」。ディーンは、ものすごく喜び、興奮していました。去年の初夏の頃です。その後、ほかのエグゼクティブ・プロデューサーたちも、主の導きを確認し、ディーンは一翼を担っていくことになりました。

Pre.Vis.



鳩のようなカモメ (ウェリントン港にて)

ハリウッドには、たくさんのお名監督がいます。しかし、その席でディーンが逆提案してくれたのは、これまでの名監督のほとんどはできない、新しい映画制作の方法でした。これも「主の山に備えあり」だったのだと思います。ここ5年、ハリウッドの制作手法は大幅に変わっています。ロケに入る前に、コンピューター映像でほぼ全カット、CG映像で作られ、シミュレーションされます(プレビズ Pre. Visualizationと言います)。

ディーンによると、ナルニアに至っては、「最終的には、役者の目線や表情も含め、99%プレビズと同じ作品となった」とのことです。スタッフも、役者たちも、事前に、プレビズのCG映像を何度も確認し、撮影に入るからです。この結果、演出への緻密な計算が事前に効果的にでき、迫力ある映像等をもたらすコンピューター映像(スペシャルエフェクト)等の導入が可能になります。ストーリー自体も何度も吟味でき、また、コストも削減できます。

昨秋、8分ほどの予告編的な作品をディーンに依頼することとなりました。半年後、仕上がった作品は、プロデューサー全員や出資者の皆さん方の大いに気に入るところとなり、今回のさらなるミーティングへとつながっていきました。

チャーチ&ホームスクーリングも、踏み出したら、「主の山の上には備えがある」(創世記 22:14)をしぼし思うことも多いですね。「Kingdom Come 新ジーザス」も、どちらも伝道という、強い目的をめざすなか、碎かれ、謙遜にされ、同時に、強められ「主の御手は、短くない」(イザヤ 59:1)、「主の山の上には備えがある」との現実をプレゼントされるのだと、改めて教えられています。

### ブランド・プロダクションが待っていた！

ディーンが現在制作中のナルニア2は、来年5月めざして、追い込みに入っていました。ニュージーランドのWetaという、総勢2000人あまりが働くスタジオが舞台です。Wetaは、アカデミー賞を10以上受賞、「ロード・オブ・ザ・リング」3部作、「キングコング」、



「ラスト・サムライ」そして「ナルニア」と大ヒット作品を連続させ、ハリウッドで最も注目されている、「ブランド」となった制作スタジオの一つです。自身、5つのアカデミー賞に輝くリチャード・テラー社長は、「これまで、ロード・オブ・ザ・リングや、ナルニアといった、聖書をベースにした作品に心を砕いてきた。でもこれは『映画』以上の作品。Pre.Vis.にも心打たれた。ぜひ、一緒に制作したい」と、ミーティング後、すぐに手紙をくれました。それは予想もしない展開でした。まずは、今後のロケスタートに向けて準備スタッフがWetaから派遣されることが決まり、来月、イスラエルにコンセプト等を固めるロケハンに向かうこととなりました。

### わたしはあなたの名を呼んだ（イザヤ43：1）

2010年11月23日予定の全米での公開に向けて、また一つ、扉が開かれていきました。この映画制作とチャーチ&ホームスクーリング、伝道という最終目的が一緒であることは、前述しました。そのほかに、もう一つ、共通項があります。どちらも、「ま、理想だね」「現実には無理でしょう」という声や視線もある中で導かれてきたところです。

できたらすごいけれど、その実現は大変なことだらけ、夢のまた夢、無理のように見えます。「もっと英語ができれば…」、「なぜ、日本人の僕の出席が許されているか」といった心境になることもありました。でも、なぜかここまで主は私をそこに置いてくれました。そして、勇気をもって顔を上げ、ただ主に知恵を求め、信頼しながら一歩、一歩、進むことを示される日々でした。

「だが、今、ヤコブよ。あなたを造り出した方、主はこう仰せられる。イスラエルよ。あなたを形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。…あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり、川を渡る時も、あなたは押し流されない。」（イザヤ 43：1、2）

「わたしのしもべヤコブよ。恐れるな。——主の御告げ——イスラエルよ。おののくな。…わたしがあなたとともにいて——主の御告げ——あなたを救うからだ。」（エレミヤ 30：10、11）

「あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。」（ヤコブ 1：5）

### 大路

まだ、制作はこれからで、これからも山あり、谷ありでしょう。でも、主はこれまで、一つもむだなことを許されませんでした。これまでの主の恵みの手の確かさを忘れず、一層、主に耳を傾けて進んでいくことを示されます。「——



エグゼクティブ・プロデューサーたち

主の御告げ——あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ大路に心を留めよ。」（エレミヤ 31：21）とあるとおりです。

NHK時代の「光あるうちに—三浦綾子・その日々—」でも、「再出発の冬—東京・山谷の小さな教会」の制作でも、チアの展開でも、困難や謙遜になるための試練は当然、許されました。でもやはり、主にある圧倒的な勝利です。キリストが開いた扉は、何があっても閉じませんでした。「聖なる方、真実な方、ダビデのかぎを持っている方、彼が開くとだれも閉じる者がなく、彼が閉じるとだれも開く者がなく、その方」（黙示録 3：7）、イエス・キリストの前に、ただ従うだけです。不十分であり、失敗の多い自分を悔いることもあります。これまで主が与え、訓練してくれた「大路」を思い、忍耐と勇気をもって、主に信頼して歩む力を与えられてきました。

### ニュージーランドの虹の約束

ディーンたちとの出会い、また、今回のWetaスタジオのチームとの出会いは、また一つ、主の御心の強さを確認するときともなりました。台本会議中、嵐の雲が流れて、突然、虹が現れました。最初は2重の虹、その30分後に現れたのは、手が届くような、すぐ目の前に現れた虹でした。「わたしは雲の中に、わたしの虹を立てる。それはわたしと地との間の契約のしるしとなる」（創世記 9：13）。昨年秋、奈良県での「故松本佳子さんメモリアルキャンプ」で、1時間半も続く、どっしりとした鮮やかな虹を見て、とても励まされました。ニュージーランドの手が届く様な虹は、その特別な感動も思い出させ、さらに主の導きを確認するものとなりました。

### 実

出張に先立ち、軽井沢と横浜でのセミナーの機会が与えられました。どちらも、参加者の皆さんの思いに励ま





嵐が過ぎて差し込んだ光と虹（日本会議室の窓から）

される祝福されたときでした。ノンクリスチャンの皆さんの参加も多く、また、受け止め方も、より開かれた印象で、時代の変化を思いました。横浜でのセミナーは、第一礼拝の後に、書籍やマガジンがほとんど無くなってしまい、販売に来ていた陽川夏枝スタッフが、急速、第三礼拝に間に合わせようと、横浜から早稲田の事務局に取りに行くことになりました。8年の歴史の中で、このようにミニリバイバルのように書籍が販売されたことは数回あったと思いますが、このセミナーは、そんなタイプの2日間でした。Q&Aもとても面白かったです。

○「子育ての失敗の3つの要因は？」「夫婦の不一致」、「子どもの悪い点を愛をもって伝える、教師や他の人の助言に耳を傾けず盲目的に子どもの言うことを信じる」、「聖書的な愛のムチの欠如」

○「ホームスクーリング・マインドをノンクリスチャンでもわかるように言い換えれば？」「親子のきずなの回復。そのための親の犠牲」

○「チャーチスクールの教師がすべきことは？」「今、先生方は、犠牲を払って、キリストを伝える、キリストの弟子訓練をしようとの思いのみで、全力で行ってますね。基本的に、そのまま十分。継続してください。（もし、足すとするなら、親を愛し、従うことを先生方から励ます）」…。

7年目に入られたホームスクーラーの方から、中学からはいったん、公立校に入れようかと思うかと思うかと聞かれて電話の機会がありました。「明確に導かれているなら、反対しないし、ご夫妻の決断は尊重します。でも、さっき電話に出てくれたお姉ちゃんの対応は、明るく、てきぱきして、とても素晴らしかったよ。すごい成長しているじゃない」「いや、特に下の子はだめに思えて、チアに連れていくと恥ずかしくなる」「そんなことないよ。必ず、ご両親の犠牲と愛は伝わっているし、それは下の子どもさんたちにもいい影響を与えているよ。現にあんなに素晴らしい対応していたじゃない。『実』はこれから、ますます

はっきりしてくるよ」「そういえば、外の方から、どうしてあんなに、自分から勉強するように育つか、聞かれました。親としては何にもできてないと思うんだけど…」「そうでしょう？ もちろん、主にあっての決断、導かれるならば、どういうスタイルでも応援するけど、その前にぜひ、白馬に来て、最新の情報収集して、原点に戻り、聖書のチャレンジを受けて、それから決めてください。教育委員会の皆さんも、20年後の責任、子どもさんたちの将来の責任はとれないよ。アメリカでも、最初は、中学や高校からは公立校に戻るって家族もあったんだけど、それはよくない結果が多いってことが次第に知られていったから、そのパターンは、どんどん減っていったよ。最近では、大学も良くない結果が多いということで、家庭でできる通信制の大学とかに進んだ方が、しっかり社会で活躍できると、そのパターンが急増しているよ。日本でも、啓明小とかも、最初は、中学は公立校に通学していたけど、結果がよくないということで、チアがスタートした翌年から、中等部をスタートさせている事例もあるよ。白馬無理なら、マガジンでも、ビデオでも、本でも見て…。全国では、ホームスクーリング、やりたくてもできない方々がたくさんいるんだよ。ご主人が、まだ、理解されていないとか、ほかのさまざまな理由で。それで、『形ではなく本質を』、週2時間からのホームスクーリングってがんばっておられるんだよ。ご夫妻で決断されて、ホームスクーリングやってこれたって、すごい恵まれてるんだよ。主にあっての犠牲に、ムダはないよ。そんな会話が進みました。

「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つける」（箴言 8：17）とあります。今年、チアでは、「全力で神さまを愛する」ことを示されてきました。神さまを愛し、状況や神以外のものを、恐れなくて謙遜に進もうではありませんか。主を熱心に捜し、主が約束くださったように、見つけようではありませんか。

「恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ」（イザヤ 43：1）。皆さん、主に名前を呼ばれていることを心に刻み、その大路を進んでいこうではありませんか。

白馬セミナーもすでに400名あまりの皆さんが登録くださって感謝です。上記、「Kingdom Come」プロジェクトと共に、ぜひぜひ、お祈りくださり、ご参加ください。家族のきずなの回復と弟子訓練、主からの油そそぎ。白馬にてお会いできることを楽しみに待っています。

ますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



## 白馬特別企画1

クリスチャンが主に召されて教師に導かれ、公立校で地の塩、世の光として奮闘されていることは大変、素晴らしいことと思います。教職はとても大切で、召されたクリスチャン教師はもっともっと増えればと願います。

しかし、クリスチャンの親が、その子どもを無防備に公立校に送るならば、どのような結果が待っているのでしょうか。

アメリカで200万人を超えるムーブメントを導くことに用いられてきたグレッグ・ハリス氏は、80年代から、預言書的なメッセージを持って、全米を警告し、本来の家族・教育の在り方を訴えてまわりました。

90年代に書かれた『チャーチ&ホームスクーリング入門』での警告は、今日のアメリカ社会で現実とな

り、本に記されたとおりの道を歩んでいくこととなりました。

教育・家族の危機が叫ばれてきた日本ではどうでしょうか。子どもや家族・教育をめぐるニュースでの驚くような悲しい事件は、まだまだ「極端な事例」であって、「日常」ではないかもしれませんが、その問題の本質はどうでしょう。アメリカ社会での退廃とは異なって、日本では「教育改革」は進むのでしょうか。どこに、問題の原因と解決の道はあるのでしょうか？詳しくは、今秋、白馬セミナーにて、ぜひ、その警告と提言に用いられている本人から直接、聞いてください。その来日に先立って、グレッグ・ハリス氏の「チャーチ&ホームスクーリング入門」序章を送ります。ぜひ、考えてみませんか。

**主講師 グレッグ・ハリス著**  
『チャーチ&ホームスクーリング入門』より

### 「序章 信仰と学びのパラダイムシフト」



#### グレッグ・ハリス プロフィール

ミリオンセラーとなった『聖書が教える恋愛講座』のジョシュア・ハリスのお父さん。昨年来日したソノ夫人（日系3世）とともに、7人の子どもたちをホームスクーリング、200万人を超えるアメリカのホームスクーリング・ムーブメントのパイオニアとして大きく用いられている。ベストセラーとなった『チャーチ&ホームスクーリング入門』の著者。若者向けのミニストーリー、レベレーションを展開している三男と四男アレックス&ブレット、そして義母リリィさん（日系2世）ら8人で来日予定。

#### 教育システムへの幻想と キレる子どもたちの急増

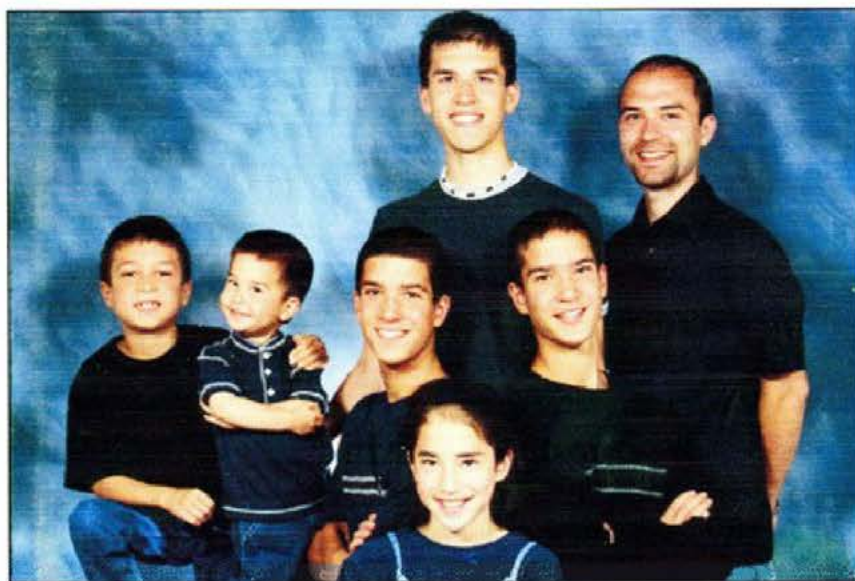
教育の問題を多くの人々が真剣に取り上げるようになってから、かなりの時が経ちました。私たちは公教育に多くの税金を投じてきました。そうすることで学校がうまく機能していると考えていました。しかし、それは良かったことまで変えてしまったのです。それも、あっという間に。

アメリカにおける教育システムが完全に崩壊してしまったというわけではありません。事実、わずかなある人々は成功を取っています。そのわずかな人々は、誤った方向に多くの子どもたちを導くという目的を全うできたのです。アメリカの教育は、読み書きのできない多く

の大人たちを抱えた国家を作り出すのに成功しました。若者たちの良心、道徳的な基盤を壊すことに成功しました。親たちの権威を巧妙に失わせることに成功したのです。経済システムにおいて、アメリカの自信は失われました。「危機に立つ国家」と称する教育についての大統領教書を提出させるのに成功したのです。

教育システムのこのような「成功」は、公立学校が始まって以来、教育者たちが私たちに描き、約束してきた成功とはまったく反対の結果を示しています。19世紀の中ごろ、ホレス・マンは、政府の許認可のもとに行われる公教育は人類のもっともすばらしい発見であり、また、地域の学校は「黄金の時代」の到来を告げる先導役になる場所であると語りました。20世紀の初め、ジョン・デューイは、アメリカの教育システム





ハリス家の7人の子どもたち

は、偉大な「社会主義者のユートピア」を作るために用いられるだろうと語りました。しかし、その実はあまりにも不毛なものでした。ジョニーは読めません。スージーは単語のスペルがわかりません。ウィリーは書けません。アーサーは足し算ができません。彼らの多くは、困惑し、キレ始め、親や教師に反抗し、麻薬を乱用し、不安定で、暴力的で、まるで恐ろしい蜘蛛の巣にとらえられているかのようです。

### 300万人を超える、 ホームスクーラーの登場

公教育に携わる教育者たちは、自分たちのすばらしさを証明するチャンスを持っていました。教育の使命に燃える多くの善良な教師たちが、このシステムの中で心を尽くしました。しかし、彼らは実験に失敗したのです。

これらの公教育システムの「成功」に応じて、300万人を超える親たちは他の選択肢を見いだしました。彼らの子どもたちを、自主的に、学校に行かせないことにしたのです。と言っても、その子どもたちはその後も学習を続けていますが、彼らはただ、学校に行かなくなったというだけで、家庭において、両親たちによって、また、その両親たちを応援する人々の助けの中で、「教育」を受け続けているのです。

みなさんにとって、このことはまったく異次元の考え方もかもしれません。家が学校になる？ もし、あなた自身がホームスクーラーとして育っていなかったなら、そういう人たちに対していろいろな疑問を投げかけることでしょう。子どもたちは本当に学力を身につけられるのでしょうか。両親たちは、教える資格や能力があるのでは

でしょうか。そういう人たちは一部の宗教的な狂信者に過ぎないのではないのでしょうか。

最近、ホームスクーラーたちの地位が急激に上がったのはなぜでしょう。親たちはどうしてそんなに自分の子どもたちと多くの時間を過ごしたがるのでしょうか。それは法になかったことでしょうか。彼らの子どもたちは変わり者として成長するのではないのでしょうか。

あなたの近所でホームスクーリングをしている家庭があるなら、たぶんあなたはその家庭でどんなことが起こっているのかいろいろ考えることでしょう。どうして彼らに尋ねないのでしょくか。ホームスクーリングの大規模なコンベンションが開催され、書籍やマガジンも出版されています。それらに接するなら、あなたはたぶん驚きつつも、心が躍る体験をするでしょう。

この本を、少し忍耐して、続けて読んでみてください。私はホームスクーリングに関して考えられるかぎりの反対意見を聞いてきました。それらすべてに良い回答があると私は信じています。この本は、それらの問いに実際的に答え、また全体の流れを把握するために書かれました。

### ホームスクーリングに「立ち返る」

しかし、これらの答えを探り、準備する前に、まず押さえておきたい下記のポイントがあります。「多くのホームスクーラーの親たちはクリスチャンであり、ホームスクーリングに立ち返っているものである。自分たちの子どもを自分たちで教育するという責任を創造



主が与えられたということを知ったからである。

注目してほしいのは、ふたつの言葉「立ち返る (returning)」と「責任 (responsibility)」です。私はこの言葉を注意深く選びました。

親たちは、ホームスクーリングに「立ち返って」いるのです。ホームスクーリングを実践することは、何も新しいことではありません。私たちの文化でもそうですし、世界中の他の文化圏でも新しいことではないのです。それは最古の時代からなされていることで、子どもたちを教育する方法として長い間行われてきました。一方、公教育こそ新しい考え方です。アメリカでは百数十年前の1837年に、税金を投入して、新しい試みとして始まりました。公教育は、歴史的に見ても、まったくのこの効果のほどを証明されていないものなのです。

その初期になされた批評家たちの警告は、現在、すべて現実のものとなりました。税制の改革が継続的になされ、税収が拡大していなければ、公教育の流れはとうの昔に止められていたでしょう。

ホームスクーリングは、単に本来の教育の姿に立ち返ったに過ぎません。ホームスクーリングは、アメリカをはじめ、世界の国々を偉大なものにした、教育の原点ともいえる教育システムなのです。それは家庭で、親が教育を行う原点に立ち返るものです。この方法によって、アメリカは、ジョージ・ワシントン、アブラハム・リンカーン、ロバート・E・リー、オリバー・ウェンデル・ホルムズ、セオドア・ルーズベルト、ブッカー・T・ワシントン、ハリー・トルーマンら、偉大な大統領や南北戦争の将軍、経済界の雄たちを輩出してきたのです。

ここで知っていただきたいのは、現代のホームスクーリングが単に昔を懐かしがる、懐古主義の産物というわけではないということです。単に、伝統を重んじて、過去の伝統に立ち返ろうとしているわけでもありません。ホームスクーリングの運動はもっとも古いかたちを取りつつも、もっとも質の高い教育を施すために、最新のテクノロジーと的確な手段を用いているというわけです。

### 神は、子どもたちを教育する厳かな責任を親に与えた

多くのホームスクーラーの親たちは、子どもの教育を監督する責任を神から与えられているものとして捉えるようになったのです。しばらくの間ですが、子どもたちを教育するという厳かな務めが自分たちに任せられたということを、親たちは気づいたのです。そして、親たち

は最大の努力を払う必要があります。子どもを「主の教育と訓戒によって」(エペソ人への手紙6章4節)育てなければならないのです。実際的に、子どもたちの教育を監督する権利を持っているというだけではありません。義務を負っているのです。時には、人は権利を放棄することはできますが、義務を放棄することはできないのです。

たぶん、あなたはこれらのことをすでにご存知でしょう。また、自分の子どもをホームスクーリングすることを決めておられるかもしれません。たとえそうであっても、その方向に進むうえで、この本はさらにあなたに勇気を与えることでしょう。どのように始めるかを語り、踏み出した方には正しい方向を一層深く示すことでしょう。この本は「だれが」「何を」「いつ」「どこで」「どのように」「なぜ」に関する多くの問いに答えています。

一方、子どもをホームスクーリングするつもりはない人もおられるでしょう。しかし、ホームスクーリングを行っている人たちに対して関心をお持ちだと思います。あなたは、ホームスクーリングを行っているクリスチャン家族がどのようなものであるかをより理解したいと思っている牧師、弁護士、公立校の経営者・管理職、教師、また祖父母かもしれません。それならば、引き続きお読みになることをお勧めいたします。なぜホームスクーリングが、今日、もっともホットで急激に勢いを増している教育ムーブメントであるかということを見つけ出せます。そして、より良いものを作り出すために力を貸してください。

信仰と学びの冒険、パラダイムシフトを共に味わいましょう。

(『チャーチ&ホームスクーリング入門』序章より)



全米で評判のアレックス&ブレット・セミナーも日本上陸!



## 白馬特別企画2

続いて、グレッグ&ソノ・ハリス夫妻に育てられた三男、四男のアレックス&ブレットの登場です。

講師 アレックス&ブレット・ハリス

### 「思春期という神話」

#### 繋がれた象

インドで調教された象の姿は、心理的束縛の力を見事に描き出しています。調教され、そのものすごい力を人間に利用されるこの巨獣は、体長が3メートル近く、重さ5トンにまで成長します。象に与えられる仕事といえば、大木を引き抜くことや、大きな岩石を引っ張ること、そして大きな荷を両肩に背負って運ぶことなどです。

このような力持ちの動物ですが、1日の労働が終われば、夜間、勝手に歩き回ったりしないように繋いでおかれるのです。象の飼い主はただ1本の麻ひもを手に取り、地面に刺した小さな枝にその一方を結び、もう一方の端を象の右後ろ足に結わえ付けます。理論的には、象は簡単にひもを引きちぎるか、地面に刺した枝を引き抜けるはずですが、飼い主は、翌朝かならず自分が繋いだ場所に象がいると確信しているのです、何も心配しません。そして彼の思ったとおりになるのです。

このことを初めて聞いた時、僕は、飼い主がそのような自信を持っていることと、その確信どおりの結果が証明されることの、どちらがより信じがたいだろうかと迷いました。大木を引き抜くことのできる動物が、突然、小枝を引っっこ抜けなくなる？ 象の力を抑えこむ、1本の麻ひもと小枝にはどんな秘密があるのでしょうか。すぐに、それが象の足首に巻かれた麻ひもなどとは関係がなく、象の心を縛っている見えない足枷のせいであることがわかりました。

僕らの主張は単純です。僕らの世代の青年たちはこの象だと言えるでしょう。僕らにとっての麻ひもは、思春期という20世紀の概念です。小枝は、社会が僕らに寄せる期待です。病んだこの世の中の炎に取り囲まれているかのように、僕らは自由な動きを奪われて立っているのです。とはいえ、僕らを縛っている麻ひもと小枝は、最近になって生まれたものです。昔の青年たちはそれほどまでに自由を奪われていませんでした。

#### 大人同然の少年たち

合衆国海軍の初代司令長官、デイビッド・ファラガッ



#### アレックス&ブレット・ハリス プロフィール

今年、サクラメント、ダラス、シカゴ、インディアナ・ポリス…各都市で2000名あまりが参加、燃える若者チャレンジ・セミナーが、日本・白馬に初上陸します。ホームスクーラー二世世代で、アクセス数1200万件のHP、レベレーション・ムーブメントを率いる双子の兄弟です。聖書に立って生きる力と可能性の新発見！ 今回の来日に向けて送ってくれたメッセージの一部を、今回のニュースレターで、初めて、先行掲載いたします。

トは、10歳の時に軍艦エセックス号の海軍少尉候補生となりました。そして、今の基準から見れば少年でしかない12歳にして、戦いに勝利した後、彼の最初の船となった捕虜運搬船で、船員と捕虜たちを米国に連れ帰るよう命じられました。若きデイビッドは非常に早くから責任を与えられ、それに積極的に応えたのです。

合衆国初代大統領ジョージ・ワシントン、級友たち



から特に頭が良いと思われたことは一度もありませんでした。ところが、幾何学と三角法を習得し始めると、今日でいう小学5、6年のころには測量を始め、14歳ですでに学校での学びを終えてしまいました。そして16歳にして、ヴァージニア州カルペパー郡の、正規の測量技師という地位を与えられたのです。以降3年間、ワシントンは今の価値にして10万ドルに等しい年収を稼ぎました。

### 「思春期」？

これらの例は、年論的に言って今の時代では仰天させられるものですが、しかしそれというのも僕らの人生観が、100年前の男女にとっては全くなじみのなかった「思春期」という、余分な社会的身分概念の色眼鏡で覆われているからです。18世紀後半に入る前までは、子ども、大人、老人の3つの年齢区分しか存在していませんでした。

ところが、進歩的な年少者労働法と新たな義務教育法の導入とともに、それまでなかった思春期という年齢区分がアメリカで作られたのです。しばしばアメリカ心理学の父と言われるG.スタンリー・ホールが新語として考え出した「思春期」は、児童期と成人期の中間に設けられた期間で、もう子どもではなくなっているが、法律では大人に認められている通常の実行——例えば商売を始



めたり、有給で雇ってもらうこと——などはまだ許可されていない時期として認識されました。その結果、結婚や家族を築くことも遅らさなければならなくなり、私たちは「ティーンエイジャー」という、大人が持つあこがれや能力を全て持ちながら、大人に認められている自由や責任は何も許されない不幸な存在を作り出してしまったのです。

高校という、4年間の連続した規定教育とそれに関連する無為な生活（しばしばこれが大学に入ってから最初の2年間でもそのまま繰り返される）が、いわゆるティーン・ライフとなりました。必要以上に長く子どもでいらなかった、若きファラガットやワシントンとなる道は、法律により断たれてしまったのです。その代わりに培養されてきたのが、若者たちが必要以上に長期にわたり子どものようなままでいることが許され、励まされ、強制までされる、私たちが知るところの今日の文化です。わが国の過去の偉人たちの例を読んで、僕らは13～18歳の人々が責任ある大人として振舞ってはいけない理由など、どこにも無いことを悟らねばならないと思います。世界の多様な文化もこの正当性を保証しています。今日若者たちをつなぎとめ続けているのは、思春期と呼ばれる、無くなることのないこの休み時間の麻ひもと、社会からの低い期待という小枝でしかありません。僕らは自分にも他人にも未熟さや無責任さしか期待せず、まさにそのとおりのことを得るのです。

### どうして象は繋がれたままなのか？

この文章の冒頭で、日中は大木を引き抜く肉体的能力を持ちながら、一晩中麻ひもと小枝でつながれているインドの巨象について書きました。どうしてそんなことが可能なのでしょう。

象の訓練は、彼らがまだ幼く、力も遥かに弱い時期から始められます。母象から引き離された子象は、大きな木に鉄の鎖でつながれるようになります。何日も何週間も、その赤ちゃん象は鎖から自由になろうと引っ張り続けますが、激しい努力もすべて無駄なことだと知ります。



その後ゆっくりと、数週間、時には数カ月もの期間にわたり、つなぐのに使われる鎖や木のサイズが徐々に落とされていきます。そして最終的に、麻のひもや小枝を使っても巨獣が身動きしなくなるのです。彼らの思考が、右後ろ足に何か巻かれているときは、どこにも行くことができないもの、という考えに完全にとらわれているからです。

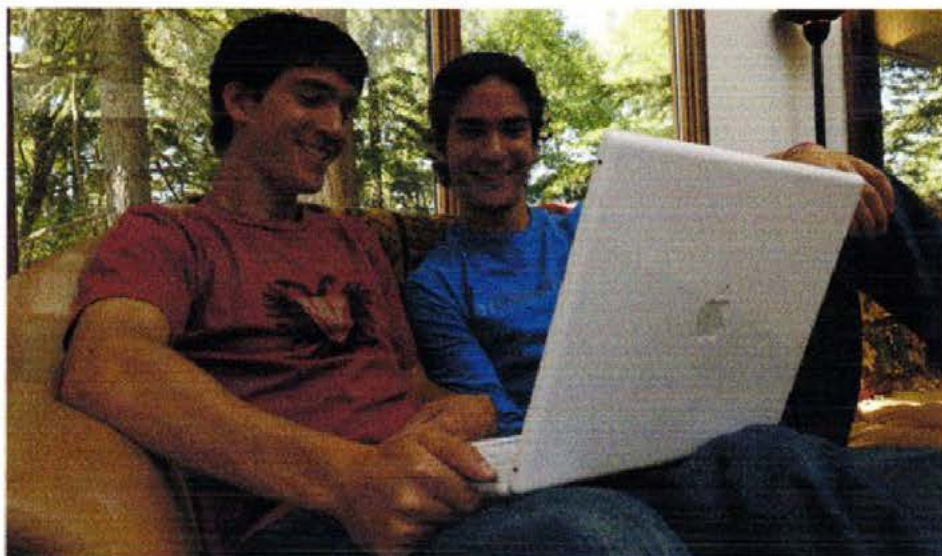
僕らはここで、仲間としての同世代の皆さん1人1人に尋ねたいと思います。「僕らを引き止めているものは何でしょうか？」と。歴史は、僕らの能力が、自分たちで考えているよりも遥かに高いことを証しています。幼児期であっても数多くのことを達成できることを僕らが悟り損ねていたのは、当然のことであって、僕らに生来の欠陥があったためではなく、むしろ僕らを取り巻く社会的な状況に責任が問われるものです。メディアの影響にどっぷり浸かった若者文化を持つこの現代社会は、単に時代の流れや流行に左右されるだけでなく、それらを作り出しもします。学校の教室や、テレビ番組、雑誌、インターネット上から発信される情報は、この社会が期待していることを僕らに伝えるだけでなく、実際にはそれらの期待の数々を決定し命じさえしてきます。それらは僕らに、いかに行動し、考え、語るのかを教え、何を着、何を買い、それをどこで買うべきか、さらには何を夢み、何に価値を置き、何を嫌悪すべきかまで指図してきます。僕らはクリスチャンとしての資質や適性などが入りこむ隙間のない、ひとつの型に押し込められていっているのです。すなわち「木は枝先を撓(しな)わされるとおり育っていく」と、よく知られた格言が意味するとおりです。

この危機において、最も腹立たしい側面と考えられるのは、成熟という面ではその全ての領域が発達を妨げられているわけではないということです。十代の若者たちが、目の前の期待に応えようとする能力を顕著

に現している証拠として、彼らが先例がないほどのレベルで科学技術に熟達し、性的経験を重ねていることを証言することができるでしょう。多くのティーンエイジャーたちが無数のコンピューター用語を流暢に用いる一方、大人と知的な会話を交わす能力についてはあまり期待されていないのは、皮肉なことです。そしてあまりにも多くの少女たちが、ますます性的な魅力を身につけるよう求められている一方で、その内側に、注目に値するような人格を養うことが全く期待されていないのは、非常に悲しむべきことです。

僕らの住む世界は、そこに適合する次世代の若きクリスチャンたちを保つことができません。社会からの手かせ足かせの数々は、僕らの足首ではなく、僕らの考え方や心にかけてられています。僕らはただ、思春期といういい加減な神話と、社会がそう期待しているという嘘によって束縛されているだけなのです。自分たちを縛っているものが単なる幻想でしかないという事実さえ悟れば、そして神のみことばと世界のあらゆる歴史だけを基準に、自分たちにできると思えることを判断していくなら、僕らはもう決して無視されることのない、この世にとって大きな力を持つ世代となるでしょう。

僕らは、危機と、絶好の機会の両方に直面しています。危機とは、僕らにはもうこれ以上、十代という年代を、責任からの休暇と考え、のんびりと成人期に向かって進んでいる余裕はないということです。そして絶好の機会とは、僕らには、今こそ自分の人生を積極的にとらえて有意義に活かし、神の栄光のために違いをもたらす、また世の中の益となることのできる、ということです。自分の「足首」を見下ろし、そしてこれまであなたを縛ってきた悲しい麻ひもを見てみてください。今こそ一歩前に踏み出しましょう。





## 白馬セミナーの抄録 (前編)

### 《基調講演》

#### 「主の教育成功の秘訣」

青木靖彦 (光の子ども！キリストチヤンススクール)

主の教育がそう簡単ではないことは、やってみて初めて分かることかもしれません。それは、本気で次の世代を育てようとするとき、どのような教育でもたやすいことではないからです。繰り返し理念を確認することが挫折をしない秘訣と言えるでしょう。理念を再確認し、なくてはならないことが何かを考えてみます。

#### 「ホームスクールやチャーチスクールにおけるクリスチヤンの教育」

フィリップ・ブローマン (宮城明泉学園)

聖書は、クリスチヤンが自分の子どもに施す教育のねらい、親の権利、親の模範、子どもへの懲らしめ、家庭内の立場と役割、必要な学問などについてわかりやすく教えています。

### 《分科会》

#### 「教育に聖書的世界観を織り込むには」

青木靖彦 (光の子ども！キリストチヤンススクール)

主の教育の重要な目的は、子どもたちに正しい聖書的世界観を身につけさせることです。子育てに当たる者は、親であろうと教師であろうと、学びの場でだけでなく、日常生活や家庭生活においても、世界観を意識していなければなりません。具体的にどうすることが大切かを考えます。

#### 「主が家を建てるのでなければ」

青木由美子 (光の子ども！キリストチヤンススクール)

詩篇127篇から、主の教育のあるべき姿を考えてみましょう。私たちは、主の教育を行おうとするとき、つい、形式を整えることに目がいきがちです。いくら、聖書を教えるも、賛美や礼拝の時間があっても、みこころがなっているとは言えないことが多いのです。チャーチスクール8年余りの経験を通して主が教えてくださっていることを分かち合いたちと思います。

#### 「毎日何をしているの？」

阿部俊之&寿子 (兵庫県ホームスクーラー)

ホームスクーリングを始めて4年半が経ちました。我が家は学校の教師である夫と主婦の私、そして4人の子どもたち(14歳(女)、13歳(男)、10歳(女)、6歳(女))の6人家族です。周りの目が気になった1年目。勉強以外のいろいろなことにチャレンジした2年目。チャレンジしたことがことごとく挫折していった3年目。そして4年目の今、神様は全ての余計なものを削ぎ落として、ありのままの自然体でホームスクーリングを続けることの恵みと平安を与えて下さいました。毎日の生活の様子を曜日ごとに紹介させていただきながら、教会とのつながりについても話をさせていただきます。

#### 「創造論と福音」 宇佐神 実 (クリエイション・リサーチ)

多くの方は、創造論は福音に関係がないと思っています。確かに、キリストを救い主と信じるなら、永遠のいのちを得ることができます。しかし、救われなければならない原因と理由は、創世記にあります。最初に罪と死のない世界の創造があり、墮落があり、キリストの十字架による救いがあり、罪と死のない永遠の御国が回復される。これが聖

書の示す歴史の流れであり、その土台は創造です。この学びを通して、自分が創造主のご計画の中でどこを歩んでいるかを見ることができるようでしょう。

#### 「聖書信仰を蝕むヒューマニズム信仰」

宇佐神 実 (クリエイション・リサーチ)

日本は戦後ヒューマニズム教育がなされて来ました。そして多くの方はヒューマニズムは人として最高の生き方だと考えています。しかし、ヒューマニズムの教典とも言えるヒューマニスト宣言には、これが宗教であることが書かれています。その内容は聖書信仰を破壊する内容で埋め尽くされています。この学びを通して、ヒューマニズムが子どもや私たちの心になにか判断することができるようになるでしょう。

#### 「チャーチ&ホームスクーラーの進路指導」

大角 健一 (峰町キリスト教会、UICS)

私たちのUICS (宇都宮インターナショナルキリストチヤンススクール)も5年目を迎え、これまでも高等部から数名の卒業生を送り出してきましたが、その数は今後ますます増えていくはずですが、

家庭と共に信仰の土台を築いてきた子どもたちの進路をどのように指導していけばよいのか。試行錯誤の中で行ってきたこれまでの進路指導と現在の様子をお分かちしながら、受講される皆さんと情報交換ができればと考えています。

#### 「Let Your Kingdom Come! ~ホームスクーラー、チャーチスクーラーの親としての信仰生活~」

橋山直樹・志津 (大和カルバリーチャペル副牧師・ICA幼稚園園長・教師)

キリストのからだを建て上げていくために、子ども達はもちろん、親である私達は召されています。ホームスクール・チャーチスクールを通して、吟味され整えられなければならないのは親であることを実感しています。私達のゴールは私達の思いよりもはるかに大きいのではないのでしょうか。個人的な神様との関係、教会とのあり方、聖書的な教育観、地域社会とのあり方、夫婦の関係などを一緒に考えましょう。この日本に力強い神の国が訪れますように!

#### 「私たち0%、神様無限大! ~本当に価値のある遺産を子どもたちに~」 片岡明・郁子 (埼玉県ホームスクーラー)

初めての妊娠を期に、子どもに対する信仰継承や、こんな信仰で自分は子どもを育てていく事が出来るのだろうか?という不安から、神様に祈り、導かれたホームスクーリング。そのホームスクーリングに導かれた経緯や日々の様に過ごしているのかなど、いろんな体験や失敗を織り交ぜながら、ホームスクーリング3年目に入った我が家の歩みをお分かちしたいと思います。

#### 「チャーチ&ホームスクール! それはリバイバルの始まり」

河村浩一 (ジャパン・ミッション・インターナショナルスクール、長尾キリスト教会)

皆さんのお子さんに信仰を持たすには? 信仰を育てるには? また、皆さん自身がどのように主を第1とした生活を送っていくのか? その具体的な解決の方法がチャー



チ&ホームスクール。始めて2年。子供達は生き生き、幼児まで賛美でダンスを始める。親たちはこの世や学校の価値観から解放される。それを見て、様々な人がチャーチ&ホームスクールの教師志願。さらに思いもかけない祝福が！一方、サタン攻撃もあって失敗も経験。是非、皆さんとこの主の業を分かち合いたいと思います。

**「愛はいのち(時間)を与える」 神戸明 (浜松ICS)**

2004年4月に、静岡県浜松市に浜松ICSが開校し、早3年半が過ぎました。この3年半、教師という立場でスクールに関わり、様々な試行錯誤をしながら、泣いたり笑ったりして来ました。この体験を通して、神さまに教えられたことを分かち合いたいと思います。

結局、人が育ったり、変えられたり、救われたりするのには、愛による以外ないというのが今の実感です。そして、愛を表す最も具体的な方法とは、いのちを与える事、すなわち、共に時間を過ごすという事ではないでしょうか。具体例やスクールの映像も交えながらお分かちします。

**「恵みが満ちあふれています」**

鈴木 啓子 (南部キリスト教会・ホームスクーラー)

早いものでホームスクーリングを始めてから5年が経ちました。当時2歳の兄と18歳の姉の反抗と批難を身にしみながら、末の子のホームスクーリング開始でした。まもなく主人の闘病生活そして召天と、色々ありました。

でも、今、私達家族は幸せです。恵みが満ちあふれているのです。今回は、この5年間をふり返って、そのまんまのエピソードも交えながら、訓練されたこと、教えられたこと、あふれる恵みの数々を御紹介したいと思います。

- ◇愛の顔して実は欲?
- ◇主に従順! でももしかすると、主よ従順に!か?
- ◇自分を捨ててもだいじょうぶ!
- ◇なくてならぬものは多くはない。いや1つだよね!
- ◇比べないったら比べない!
- ◇なにはともあれ、ふぬけの日!
- ◇少女ポリアンナのように♪~

**「ホームスクール3年間の証」**

床井洋&知子 (イエス・キリスト・コミュニティ教会牧師)

私たちは、励(小6)と恵(4歳)のホームスクールをしています。励が3年生の時、いじめの為、心も体も弱り果てているのを見て、学校へ行かせないことにしました。それは、ちょうど、3年前の白馬でのコンベンションに参加した直後の事でした。その後、ある教会のチャーチスクールに1学期間通い、今は、自宅でホームスクールをする、というように、色々変化のある3年間でした。その間、私たちの教会では、三家族がホームスクールを始め、4歳から高2までの4家族6人からなるホームスクールコミュニティができました。これまでの経験と近況をお分かちできたらと願います。

**「この希望は失望に終わることがありません。」(ローマ5:5)**

酒田誠 (のあインターナショナルスクール 教務主任)

のあインターナショナルスクールは、1人の生徒とご家族の願いを通して、2005年4月に本郷台キリスト教会でスタートし、現在24名の生徒が学んでいます。「私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません」(コリント4:8)のとおり、たたかいても多いですが、神さまは確かな希望を見せて下さっています。神さ

まがのあを通して見せて下さる希望の一部をご紹介します。またもしよろしければ、皆様の希望も話して頂ければ感謝です。チャーチ&ホームスクーリングの希望を分かち合い、神さまをほめたたえたいと思います!

**「イエス様を信じるすべての人ができる「証し」**

フィリップ・ブローマン (宮城明泉学園)

イエス様は永遠までも残る二つの贈り物を私達に下さいました。一つ目は、天国に入るための罪の赦しです。二つ目は、他の人を救うための証しの仕事です。この証しをする力はどこから来るのか。誰に対して証しをすれば良いのか。証しの具体的な内容は何か。この証は誰にでも出来るのか。どのような方法があるのか。またその効果と収穫について何が期待できるか。聖書の言葉と私の経験から話します。

**「みどりのまきばホームスクール」**

堀井卓・ユリ (東京のホームスクーラー)

今年4月から始めたホームスクール(小6(男)、小4(男)、小1(女))。ホームスクールを始めようと思ったいきさつ、小学校の先生方とのやりとり、一日のスケジュール、この8ヶ月間でたくさん受けた神様の恵みをありのままお伝えしたいと思います。

**「主の教育~夫から妻・父から子~」**

松岡淳裕・みぎわ (宮城県のホームスクーラー)

3年前の春、長男(9歳)が小学1年生になるのを機に、ホームスクーリングをスタートしました。いたずらに3年と10ヶ月の年月が流れたのではなく、多くのチャレンジを受けつつ今日に至ります。昨年の春、それまで牧師をしていた私にとって、転機がやって来ました。本来の信仰姿勢のあり方等、自分自身の姿に、葛藤を覚えさせられました。この葛藤を通して、結果的に信仰生活もがらりと変わりました。ホームスクーリング生活を通して、マルコ7章・マタイ15章から教えられたことをお分かちさせて頂きます(淳裕)。

また、ホームスクーリングを通して、妻として、母としての私が、どう変えられていったか(現在進行形)を、お分かちできればと思っています(みぎわ)。

**「子育ての勘所...7つのポイント」**

森脇 弘隆 (小児科医、長野県のホームスクーラー)

クリスチャン小児科医としての立場から、子育ての勘所と題して、7つのポイントを中心にお話します。特に、低学年以下の小さな子どもを子育て中の方が、ご夫婦で聞かれるととても参考になると思います。また、今回、2年8ヶ月にわたり闘病を続けていた娘(12歳)が、癒されましたので、そのことも短く証ししたいと思います。

**「親も嬉しい、子供も嬉しいチャーチ&ホームスクール! ~公立の学校に行かなくても大丈夫!~」**

山川哲平・真紀子 (ハレルヤミュージック代表、長尾キリスト教会・ハレルヤチャーチ高松牧師)

Hallelujah! さぬきの町C&H2年目! 2年間で得た恵みを分かち合います! すごいチャレンジだと思ってはじめてC&Hだったけど、今では、これが自然な形だと気づかされています。公立の幼稚園・学校に行かなくても大丈夫だと確信しています。God be with you! (現在、5歳、4歳、2歳、6ヶ月の娘達を子育て中。来春5人目出産予定!)

(分科会等、後編は次号へ)



# ボイス&メール

主の御名をあがめます。先週は素晴らしい講演をありがとうございました。稲葉さんが命がけで取り組んでおられる主の教育、そして天の御国を伝えていく働きを、さまざまな形で感動をもって教会員メンバーと分かちあえたことは、大きな喜びでした。ますます私たちの使命を確認し、よりよきスクールを主にささげることができたらと祈り求めます。主が生き生きと一人一人の人生にかかわっている証を通して、私たちも燃やされました。感謝です。またゆるされれば、もっとお話し聞きたいです!!

神奈川 鈴木桜子

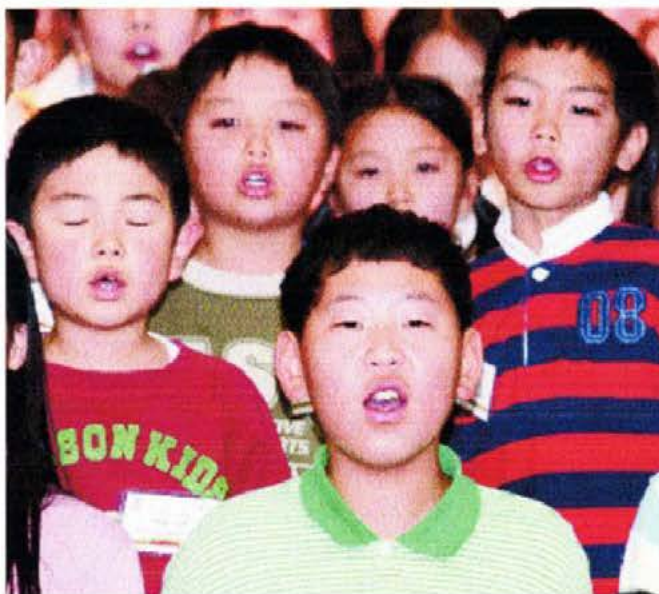
ハレルヤ。お忙しい中とは思いますが、お元気ですか。6月のコンベンションに参加して以来、ご無沙汰しています。娘の学校は厳しくて、夏には強制プール登校があるし、普段の日には病欠でさえ白い眼で見られる位なので、チアのイベントにはなかなか出られません。

それでも、これまでの歩みの中、様々な出会いの機会を与えられ、感謝です。チアの活動の上に、祝福豊かにありますように。

埼玉 Bさん

ハレルヤ! マガジン26号を感謝します。馬場直行さんのページに励まされました。夏キャンプでグレイプシティ見学をしたので、その社長を務められる馬場さんの文章を読んで、立体的につながり、なおさら、神さまの導きのすばらしさにとってもっとも励まされました。チャーチ&ホームスクーリングされる子ども達の将来に直行社長の証は、励ましになりました。ありがとうございます。

Aさん



娘のめぐみ(12歳)が全快しました。みなさんの祈りに感謝し、主に栄光を帰します。5月から少しずつ食べはじめ、9月13日に経鼻チューブを抜去しました。2年8ヶ月、摂食障害の病と闘っていましたが、主が癒して下さいましたこと、ご報告いたします。

今回、初めて念願の白馬セミナーに家族全員で参加予定です。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

長野 森脇弘隆・由美子

ハレルヤ! 今日はとても素晴らしい一日でした。チアコンベンション九州大会で呼びかけていただいたチャーチ&ホームスクーラーの方々との交わりが実現しました。九州でもネットワークが欲しいと前々から祈っていましたので、本当にこの小さな集まりは私たちにとって祈りの答えでした。きっかけを作ってくくださったチアの働きに心から感謝しています。

今回は5つの家族が集まりました。2~3家族集まればいいほうだと思っていましたので最初から神様は本当に祝福して下さいました。そして、何より皆さんの目的が一致していることも感謝なことでした。子ども達に信仰を継承したいという熱い思いを感じました。九州というと関東や関西のようなホームスクーラー同士の交わりがなかなか難しいので、皆さん今回の集まりを喜んでくださっていました。時々交わり、祈りあうだけでも本当にお互いの励ましと支えになると思います。

「今度白馬に行きます。」「チアで知り合ったお友達を通して子どもが成長しました。」など、九州でもチアの働きは本当に用いられています。ありがとうございます。どうか今後とも九州でのチャーチ&ホームスクールがますます祝福されるようお祈り下さい。

福岡 渡辺英治&礼子

p.s. 10月14日、15時33分、四男が生まれました!



# ボイス&メール

聖名を崇めます。御聖言に立って真直に歩まれているチアの活動を応援しています。主人の介護や仕事で白馬に伺えませんが、成功をお祈りしています。

茨木市 藤田直子

ハレルヤ！ 今年、関西のチアのコンベンションに初めて参加しました。コンベンションが大変よかったです。チャーチスクールで白馬セミナーの参加を検討しています。

レムエル チャーチスクール 岡本俊樹

今夏、アメリカから引越して、今、埼玉県所沢市に住んでいます。9月から3番目の娘（10歳）のホームスクールを始めています。また、近辺でホームスクールをしておられる方がおられましたら、是非お友達になってもらいたいと願っています。埼玉県でチャーチスクールをしておられる教会も教えていただけたらありがたいです。

埼玉 美湖純子

チアのコンベンションで購入した書籍の『神の知恵と親の情熱』とても具体的ですばらしいです。様々な子どもの伝道の訓練を受けいろいろ学びましたが、この本の中の大変具体的で実践的なアドバイスがとても役に立っています。『聖書が教える親と子のコミュニケーション』も大変いい本で、いろいろと新しい示唆に富んでいて、感銘を受けています。このような素晴らしい書籍があること感謝しています。

埼玉 Cさん

私たちの教会はまだ4年目で25人位ですが、今年3人の子どもが生まれました。みことばに生きる神の子として育てたいと願っています。チャーチスクールが教会で出来るのがビジョンです。とりあえず、小さな保育園から始めていきたいです。

広島 田中範子

聖書10の旧約聖書のメッセージが大変すばらしく、驚きました。真理が解りやすく、適応もあり、とても興味深く使わせてもらいました。

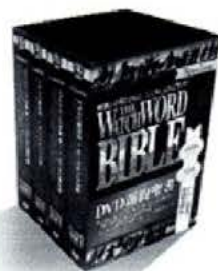
埼玉 Dさん

## ★ DVD聖書 クリスマス特価！ ★

### 全国の書店の皆さんからの声

◇昨年のDVD聖書全巻セットのクリスマスの特価を今年も再度、是非お願いします。このDVD聖書は本当にいいので、クリスマスプレゼントに最適です。昨年、とても好評でした。実は、私も、このDVDをよく用いています。特に朗読が素晴らしいと思います。本当によいプレゼントにもなると思います。(書店さんからの声、Aさん)

◇僕は、DVD聖書のローマ書を3ヶ月間、毎日通勤の車の中で聞きました。すごくよかったです。今度は、黙示録を聞く予定です。本当に心にしみる聖書のみことばです。クリスマス・プレゼントに自信をもって薦めています。(書店さんからの声、Bさん)



### プラチナ版

日英ナレーション/日・英字幕盤 (2枚組)

全12巻/24枚

(通常価格 3,980円×12巻  
24枚で 47,880円)

↓  
セットパッケージで 41,790円をさらに

クリスマス特価 6,300円引き

**35,490円**

(33,800円+税)

### スタンダード版

日英ナレーション/日本語字幕のみ

全12巻/12枚

(通常価格 1,980円×12巻  
12枚で 23,760円)

↓  
セットパッケージで 20,790円をさらに

クリスマス特価 3,990円引き

**16,800円**

(16,000円+税)



2007年 チア・にっぽん カレンダー

●白馬セミナー

11月22日(木)～24日(土)

ホテルグリーンプラザ白馬

(長野県北安曇郡小谷村千国乙12860-1

TEL 0261-82-2236(代))

主講師: グレグ&ソノ・ハリス

アレックス&ブレット・ハリス

●アレックス&ブレットの  
若きいのちへのチャレンジセミナー

12月1日(土) 13:30～

東京中央教会 (JR新大久保駅から徒歩5分)

<日程調整中のセミナー>

●JECヒルズチャーチ (大阪・熊取町)

TEL 0724-53-4106

●峰町キリスト教会 (栃木・宇都宮市)

TEL 028-636-8663

●J-HOUSE (大阪・大阪市)

TEL 06-4709-7040

<チアにっぽん1日書店> (by 陽川夏枝スタッフ)

●蓬萊キリスト教会 (福島県)

10月21日(日) 午後1時～2時30分

チア・にっぽん会費のご入金もホームページから、  
クレジットカード対応で便利になりました!

忙しくてなかなか郵便局までご入金に行く  
時間の取れない方、ご要望の多かった  
「クレジットカード決済」でも年会費を  
ご入金頂けるようになりました!

www.cheajapan.com までどうぞ!

会費 (1) 個人メンバー 年間5,000円  
(2) 団体メンバー 年間10,000円

郵便局が便利な皆様、チアの働きを  
皆様のミニストリーの一つとして考えて、  
尊い献金を考えて下さる皆様、  
どうぞ、こちらにお願いします。

郵便振替 00190-3-35461

チア・にっぽん事務局

入会案内は、事務局、またはホームページ  
(www.cheajapan.com) までどうぞ!



★恵みシャレー軽井沢のクリスマス★  
「シンギング クリスマス ツリー」

(主催: いのちのことば社)

シンギング・ツリー(60人)と集った皆  
さんが一緒にクリスマス・キャロルを歌いま  
す。

●毎週末(土・日)開催予定

11/24、12/1・2・8・9

12/15・16、22～24

申込・お問い合わせは、恵みシャレー軽井沢  
まで(TEL 0267-42-2302)

チア・にっぽん事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-17-  
32-201

TEL 03-5155-9212 FAX 03-5155-9213

メール office@cheajapan.com

CHEA Japan LA Office

1012 N.Rose St. Burbank CA 91505 U.S.A